

青森県報

第九百十五号

令和七年
五月十九日
(月曜日)

目 次

公 告

○県営土地改良事業計画の決定……………(農村整備課) ……一

○右 同……………(同) ……一

○右 同……………(同) ……二

○右 同……………(同) ……二

○都市計画の変更案の縦覧……………(都市計画課) ……二

出先機関

○土地改良区の清算人の就任……………(三八農林水産事務所) ……三

公安委員会

○運転免許取得者等教育の認定の取消し……………(運転免許課) ……四

○運転免許取得者等検査の認定の取消し……………(同) ……四

公 告

県営土地改良事業計画の決定

土地改良法(昭和二十四年法律第百九十五号)第八十七条第一項の規定により、吉川堰地区の県営土地改良事業(ため池等整備事業(用排水施設整備))計画を定めたので、同条第五項の規定により公告し、次のとおり縦覧に供する。

なお、この土地改良事業計画については、縦覧の期間満了の日の翌日から起算して

十五日以内に知事に対して審査請求をすることができる。

このほか、この土地改良事業計画が定められたことを知った日の翌日から起算して六月以内に、県を被告として(知事が被告の代表者となる。)、その取消しの訴えを提起することができる。ただし、縦覧の期間満了の日の翌日から起算して十五日以内に審査請求を行った場合には、土地改良事業計画の取消しの訴えは、その審査請求に対する裁決があつたことを知った日の翌日から起算して六月以内に提起しなければならないこととされている。

令和七年五月十九日

青森県知事 宮 下 宗一郎

一 縦覧に供する書類

土地改良事業計画書の写し

二 縦覧の期間

令和七年五月二十日から同年六月九日まで

三 縦覧の場所

青森県庁農村整備課ウェブページ

県営土地改良事業計画の決定

土地改良法(昭和二十四年法律第百九十五号)第八十七条第一項の規定により、悪戸・小沢地区の県営土地改良事業(畑地帯総合整備事業(農業用排水施設整備)(農道整備))計画を定めたので、同条第五項の規定により公告し、次のとおり縦覧に供する。

なお、この土地改良事業計画については、縦覧の期間満了の日の翌日から起算して十五日以内に知事に対して審査請求をすることができる。

このほか、この土地改良事業計画が定められたことを知った日の翌日から起算して六月以内に、県を被告として(知事が被告の代表者となる。)、その取消しの訴えを提起することができる。ただし、縦覧の期間満了の日の翌日から起算して十五日以内に審査請求を行った場合には、土地改良事業計画の取消しの訴えは、その審査請求に対する裁決があつたことを知った日の翌日から起算して六月以内に提起しなければならないこととされている。

令和七年五月十九日

青森県知事 宮 下 宗 一 郎

一 縦覧に供する書類

土地改良事業計画書の写し

二 縦覧の期間

令和七年五月二十日から同年六月九日まで

三 縦覧の場所

青森県庁農村整備課ウェブページ

県営土地改良事業計画の決定

土地改良法（昭和二十四年法律第九十五号）第八十七条第一項の規定により、今別地区の県営土地改良事業（経営体育成基盤整備事業）計画を定めたので、同条第五項の規定により公告し、次のとおり縦覧に供する。

なお、この土地改良事業計画については、縦覧の期間満了の日の翌日から起算して十五日以内に知事に対して審査請求をすることができる。

このほか、この土地改良事業計画が定められたことを知った日の翌日から起算して六月以内に、県を被告として（知事が被告の代表者となる。）、その取消しの訴えを提起することができる。ただし、縦覧の期間満了の日の翌日から起算して十五日以内に審査請求を行った場合には、土地改良事業計画の取消しの訴えは、その審査請求に対する裁決があったことを知った日の翌日から起算して六月以内に提起しなければならないこととされている。

令和七年五月十九日

青森県知事 宮 下 宗 一 郎

一 縦覧に供する書類

土地改良事業計画書の写し

二 縦覧の期間

令和七年五月二十日から同年六月九日まで

三 縦覧の場所

青森県庁農村整備課ウェブページ

県営土地改良事業計画の決定

土地改良法（昭和二十四年法律第九十五号）第八十七条第一項の規定により、水本地区の県営土地改良事業（ため池等整備事業（用排水施設整備））計画を定めたので、同条第五項の規定により公告し、次のとおり縦覧に供する。

なお、この土地改良事業計画については、縦覧の期間満了の日の翌日から起算して十五日以内に知事に対して審査請求をすることができる。

このほか、この土地改良事業計画が定められたことを知った日の翌日から起算して六月以内に、県を被告として（知事が被告の代表者となる。）、その取消しの訴えを提起することができる。ただし、縦覧の期間満了の日の翌日から起算して十五日以内に審査請求を行った場合には、土地改良事業計画の取消しの訴えは、その審査請求に対する裁決があったことを知った日の翌日から起算して六月以内に提起しなければならないこととされている。

令和七年五月十九日

青森県知事 宮 下 宗 一 郎

一 縦覧に供する書類

土地改良事業計画書の写し

二 縦覧の期間

令和七年五月二十日から同年六月九日まで

三 縦覧の場所

青森県庁農村整備課ウェブページ

都市計画の変更案の縦覧

都市計画法（昭和四十三年法律第九号）第二十一条第一項の規定により、むつ都市計画区域における道路に関する都市計画を変更したので、同条第二項において準用する同法第十七条第一項の規定により公告し、次のとおりむつ都市計画区域における道路に関する都市計画の変更案を縦覧に供する。

なお、関係市町村の住民及び利害関係人は、縦覧期間満了の日までに、当該都市計

県営悪戸・小沢地区土地改良事業計画書

畑 地 帯 総 合 整 備 事 業

(農業用排水施設整備)

青 森 県

目 次

第 1 章	目 的	1
第 2 章	地 域 及 び 地 積	1
第 1 節	地 域	1
第 2 節	地 積	1
第 3 章	現 況	2
第 1 節	気 象	2
1.	一 般 気 象	2
2.	特 殊 気 象	2
第 2 節	土 地 状 況	3
1.	地形、土壌及び浸食の程度	3
2.	土地利用の状況	4
3.	土地所有の状況	4
第 3 節	水 利 状 況	5
1.	用 水 状 況	5
2.	排 水 状 況	7
3.	河 川 状 況	8
4.	想定被害状況	8
第 4 節	道 路 現 況	8
1.	道 路 概 況	8
2.	主要道路一覧表	8
第 5 節	地 域 農 業 の 概 況	9
1.	産 業 別 就 業 人 口	9
2.	経営耕地広狭別農家数及び専兼業別農家数	9
3.	動力農機具及び主要家畜頭数	10
4.	主要作物作付状況	10
5.	農 業 の 動 向	11
第 6 節	地 域 環 境 の 概 況	11
第 4 章	一 般 計 画	12
第 1 節	事 業 計 画 の 要 旨	12
1.	要 旨	12
2.	事 業 別 面 積	12

第 2 節	営農計画及び土地利用計画	13
1.	営農計画の概要	13
2.	土地利用区分	13
3.	作 付 方 式	14
4.	生 産 計 画	15
5.	労働改善計画	15
第 3 節	用 水 計 画	15
1.	計 画 基 準 年	15
2.	計画かんがい方式	15
3.	計画用水系統	15
4.	計画用水量	15
5.	水 源 計 画	17
第 4 節	排 水 計 画	18
1.	計 画 基 準 雨 量	18
2.	計画排水方式	18
3.	計画排水系統	18
4.	計画排水量	18
5.	排 水 対 策	18
6.	た ん 水 検 討	18
第 5 節	道 路 計 画	19
1.	道 路	19
2.	路 線 配 置 図	19
第 6 節	洪水調節計画	19
1.	計 画 基 準 雨 量	19
2.	計画洪水量及び調節量	19
3.	貯 水 池	19
4.	洪水調節検討	19
5.	管 理 計 画	20
第 7 節	農用地整備計画	20
1.	区 画 整 理	20
2.	暗 渠 排 水	20

3.	客	土	-----	2 1	
4.	農	地	保 全	-----	2 1
第8節	老朽ため池改修計画	-----	2 1		
1.	洪水吐改修計画	-----	2 1		
2.	堤体補強計画	-----	2 1		
3.	取水施設改修計画	-----	2 1		
第 5 章	主要工事計画	-----	2 2		
第1節	用 水 施 設	-----	2 2		
1.	貯	水	池	-----	2 2
2.	頭	首	工	-----	2 2
3.	揚	水	機	-----	2 2
4.	用	水	路	-----	2 2
第2節	排 水 施 設	-----	2 2		
1.	排 水 水 門	-----	2 2		
2.	排	水	機	-----	2 2
3.	排	水	路	-----	2 2
4.	その他排水施設	-----	2 2		
第3節	道	路	-----	2 3	
1.	道路の総括表	-----	2 3		
2.	道路主要構造物	-----	2 3		
第4節	洪水調節施設	-----	2 3		
1.	貯	水	池	-----	2 3
2.	頭首工及び導水路	-----	2 3		
第5節	農用地整備施設	-----	2 3		
1.	区 画 整 理	-----	2 3		
2.	暗 渠 排 水	-----	2 3		
3.	客	土	-----	2 3	
4.	除	礫	-----	2 3	
5.	農	地	保 全	-----	2 4
第6節	老朽ため池改修施設	-----	2 4		
1.	貯	水	池	-----	2 4
2.	堤体補強施設	-----	2 4		

第 6 章	附 帯 工 事 計 画	-----	2 4
第 7 章	工事の着手及び完了の予定時期	-----	2 4
第 8 章	環境との調和への配慮	-----	2 4
第 9 章	換地計画の概要	-----	2 5
第1節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	----	2 5
第2節	換 地 区 の 設 定	-----	2 5
1.	換地区の名称・所在・面積	-----	2 5
2.	換地区を設定する理由	-----	2 5
第3節	換地計画樹立の基本方針	-----	2 5
1.	従前の土地の地積の基準	-----	2 5
2.	用途別予定地積	-----	2 5
3.	農用地集団化の方針	-----	2 5
4.	非農用地換地の方法	-----	2 5
第4節	土地の評価及び清算の方法	-----	2 5
1.	評 価 の 方 法	-----	2 5
2.	清 算 の 方 法	-----	2 5
第5節	換地計画樹立の年度計画	-----	2 5
第6節	換地処分の時期に関する特則	-----	2 5
第 1 0 章	事業費の総額及び内訳	-----	2 6
第 1 1 章	効 用	-----	2 6
第 1 2 章	関 連 す る 事 業	-----	2 7
第 1 3 章	現 況 ・ 計 画 図 面	-----	2 7

第 1 章 目 的

本地区は弘前市の南西部に位置する標高180m～70mの樹園地地帯で、弘前市でも特に樹園地の所有面積が大きく農家の生産意欲が高い地域である。

地区内のかんがい用水施設は、未整備で井戸水や沢水等を利用しているため、安定的な畑地かんがい用水や防除用水等の確保に苦慮している。

このため、計画路線を整備することにより、畑地かんがい用水や防除用水の安定的な供給を図り、りんごの高品質、高収量の確保を目指すものである。

第 2 章 地域及び地積

第 1 節 地 域

(第1表)

地 域
弘前市

第 2 節 地 積

(令和6年12月現在) (第2表)

現状地目 市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	原 野 (ha)	山 林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
弘 前 市	—	105.5	—	—	—	105.5	土地登記簿面積

第 3 章 現 況

第 1 節 気 象

1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	弘前地域気象観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観測期間	平成26年～令和5年	5月～9月	10月～4月		
平均気温(℃)	20.4	4.5	11.1		
降水量	平均(mm)	530	784	1,314	
	基準年(mm)	252	793	1,045	昭和37年(上位事業相馬川二期地区より)
降水日数	平均(日)	46	110	156	
	基準年(日)	16	60	76	昭和37年(上位事業相馬川二期地区より)
根雪期間	12月18日～	3月20日	93日間		
無霜期間	5月13日～	10月18日	160日間		
最多風向	SW	最大風速 (風向)	15 m/s (SW)	最多風向発生時期 9月～11月 最大風速発生年月日 平成28年4月17日	

2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備 考
弘前地域気象観測所	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
観測期間 昭和1年～令和5年																
最大日雨量(mm)	243	S52.8.5	1/972	162	H25.9.16	1/100	137	R4.8.9	1/50	120	S10.8.21	1/18	116	H24.7.16	1/15	
最大時間雨量(mm)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
最大4時間雨量(mm)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
最大連続雨量(mm)	326	S6.1.4 ～ S6.2.26	1/161	306	S10.8.21 ～ S10.8.26	1/104	270	H14.8.4 ～ H14.8.15	1/50	243	S52.8.5 ～ S52.8.5	1/28	236	R4.8.9 ～ R4.8.12	1/25	
最大連続干天日数(日)	45	S18.6.15 ～ S18.7.29	1/47	44	S3.7.28 ～ S3.9.9	1/44	44	H1.5.3 ～ H1.6.15	1/44	44	H27.5.14 ～ H27.6.26	1/44	42	H6.6.21 ～ H6.8.1	1/42	

第 2 節 土地状況

1. 地形、土壤及び浸食の程度

(第4表-1-1)

地 目	田						畑						受益地標高 (m)		備 考
傾斜区分	1/1,000 未満	1/1,000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 以上	計	3° 未満	3° ～ 8°	8° ～ 15°	15° ～ 20°	20° 以上	計	最高	最低	
面 積 (ha)	—	—	—	—	—	—	—	105.5	—	—	—	105.5	180	70	
比 率 (%)	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—	—	—	100.0			

(第4表-1-2)

項 目 土壤統 (区)名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表						面 積 (ha)	備 考	
	土 壤 断 面								
	色	腐 食	礫 層	土 性					泥炭層黒泥層 及びグライ層
				表 土 一 層	下 層 二 層	土 三 層			
弘前統 灰褐色土壤 壤土型	7.5YR2/3 ・・・表土 10YR5/34 ・・・下層土	すこぶる富 む・・・表土 富む・・・下 層土	無	SIL	SIL	—	無	105.5	

2. 土地利用の状況

(令和6年12月現在) (第4表-2)

市町村名	土地利用別	耕 地						原 野 (ha)	山 林 (ha)	そ の 他 (ha)	計 (ha)	備 考	
		水 田 (ha)	畑										小 計 (ha)
			普通 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	牧 草 地 (ha)	茶 園 (ha)	そ の 他 (ha)						
弘 前 市	—	—	105.5	—	—	—	105.5	—	—	—	105.5		

3. 土地所有の状況

(令和6年12月現在) (第4表-3)

区 分		所有別	個 人 有	共 有	国 有	市 町 村 有	計	備 考
弘 前 市	面 積 (ha)		105.5	—	—	—	105.5	
	受 益 者 数 (人)		110	—	—	—	110	
	筆 数 (筆)		265	—	—	—	265	

第 3 節 水利状況

1. 用水状況

本地区は、井戸水や沢水等を水源とし、スピードスプレイヤーにより散水作業を行っている。

(1) 用水系統

現況用水系統模式図（次頁参照）

(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

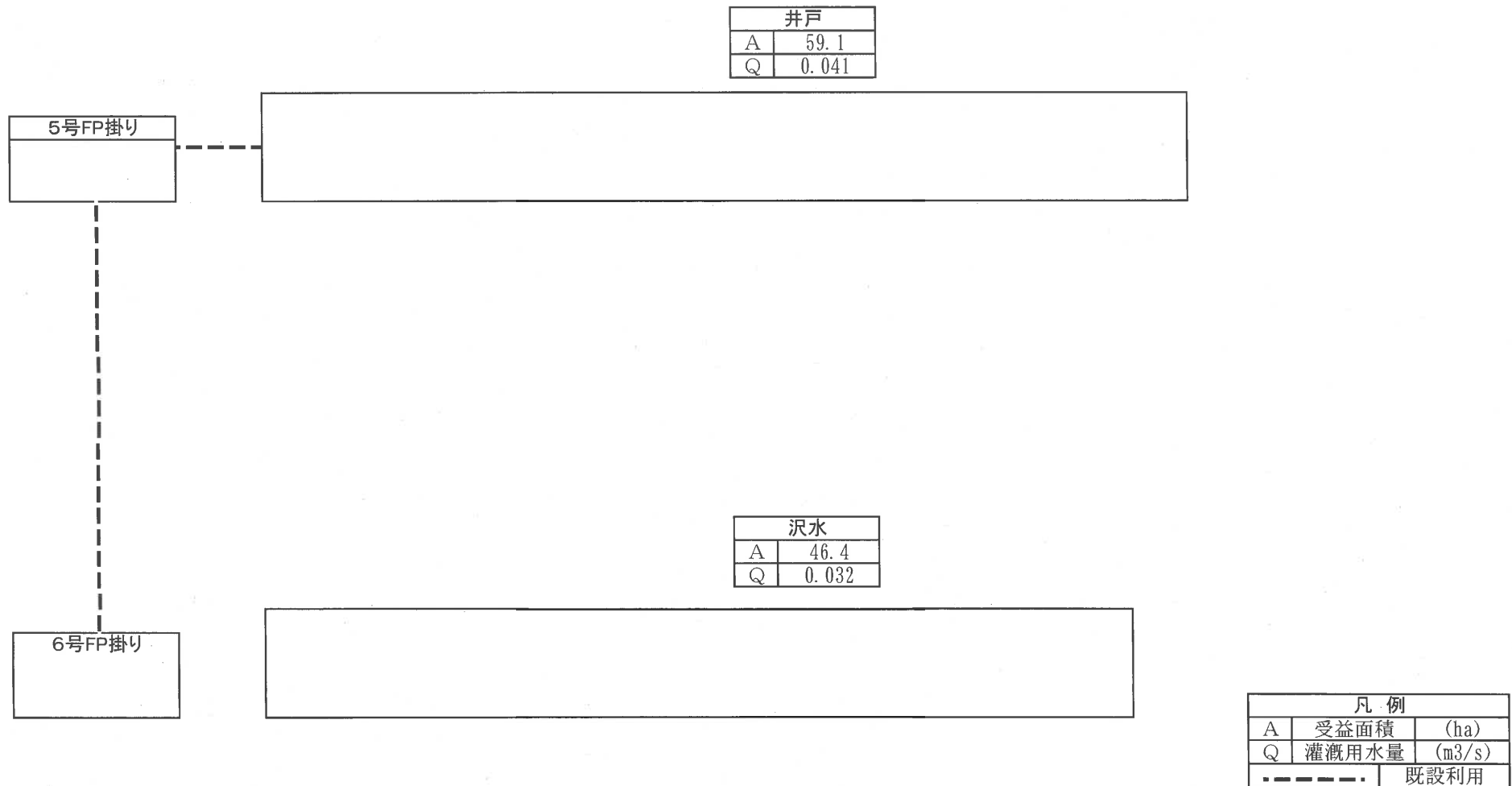
項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延べ取水量	備考
	500ha以上		500～100ha		100ha未満									
	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m³/s	箇所	m³/s	m³/s	
貯水池	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
井堰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
自然取水口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
揚水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他	-	-	2	105.5	-	-	2	105.5	-	-	-	-	0.243	井戸水・沢水
計	-	-	2	105.5	-	-	2	105.5	-	-	-	-	0.243	

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

項目 施設名	施設名 又は箇所数	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新 設 年 又は更新年	改 修 を 必 要 と す る 理 由	備 考
貯 水 池	-	-	-	-	-	-	
井 堰	-	-	-	-	-	-	
自然取水口	-	-	-	-	-	-	
揚 水 機	-	-	-	-	-	-	
用 水 路	-	-	-	-	-	-	
そ の 他	2	105.5	コンクリート製	-	不明	老朽化	井戸
計	2	105.5					

現況用水系統模式図



(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況 該当なし

(イ) その他被害状況 該当なし

2. 排水状況

(1) 排水系統 該当なし

(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表 該当なし

(イ) 改修を要する施設の一覧表 該当なし

(3) 排水に関する被害状況 該当なし

3. 河川状況

(1) 河川状況 該当なし

(2) 洪水に関する被害状況 該当なし

4. 想定被害状況 該当なし

第 4 節 道路現況

1. 道路概況 該当なし

2. 主要道路一覧表 該当なし

第 5 節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

総務省統計局＞統計データ＞令和2年国勢調査より

(第7表-1)

項 目 市町村名	総 数 (人)	農 業 (人)	林 業 (人)	漁 業 (人)	鉱 業 (人)	建設業 (人)	製造業 (人)	電気ガス 熱供給 水道業 (人)	運 輸 通信業 (人)	卸 売 小売業 飲食店 (人)	金 融 保険業 (人)	不 動 産 業 (人)	サービス業 (人)	公 務 (人)	その他 (人)	備 考
弘 前 市	82,826	10,844	71	2	14	5,068	7,913	346	3,432	16,839	1,519	975	28,038	3,777	3,988	
比率 (%)	100	13.1	0.1	0.0	0.0	6.1	9.6	0.4	4.1	20.3	1.8	1.2	33.9	4.6	4.8	

2. 経営耕地広狭別農家数及び専兼業別農家数

2020年農林業センサス II 農業経営体（総数） 3経営耕地面積規模別経営体数 7経営耕地の状況

2020年農林業センサス 自給的はIV総農家等 2経営耕地のある農家数と経営耕地面積

(第7表-2)

区 分 市町村名	農 家 総 戸 数 (戸)	経 営 耕 地 広 狭 別 農 家 数 (戸)											1戸当たり平均農用地面積 (ha)						専兼業別農家数(戸)			備 考
		例 外 規 定 の 適 用 を 受 け る も の	0.3	0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	5.0	10.0	20.0	自給的 農 家	田	畑	樹 園 地	小 計	草 地	計	専 業	兼 業		
			～ 0.5	～ 1.0	～ 1.5	～ 2.0	～ 3.0	～ 5.0	～ 10.0	～ 20.0	ha 以上	第 一 種								第 二 種		
弘 前 市	5,205	42	422	1,022	852	668	891	536	156	43	25	548	0.53	0.12	1.20	1.85	0.01	1.86	—	—	—	
比 率 (%)	100	0.9	8.1	19.6	16.4	12.8	17.1	10.3	3.0	0.8	0.5	10.5	28.5	6.5	64.5	99.5	0.5	100	—	—	—	

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(第7表-3)

市町村名	項目		動力農機具						主要家畜				備考		
	農用トラクター		コンバイン		動力田植機		乗用型ステートスプレー		乳用牛		肉用牛				
	数量(台)	戸数(戸)	数量(台)	戸数(戸)	数量(台)	戸数(戸)	数量(台)	戸数(戸)	数量(台)	戸数(戸)	数量(台)	戸数(戸)			
弘前市	-	-	-	-	-	-	-	-	X	2	37	5			
100戸当たり数量(台, 頭)	-		-		-		-		-		0.7				
利用戸数割合 (%)	-		-		-		-		0.0		0.1				

4. 主要作物作付状況

※1 農林水産省HP>統計情報>農業生産に関する統計>作物統計>面積調査>市町村別データ>令和5年(e-Stat)>耕地面積>青森県
 ※2 2020農林業センサス>確報>第1巻 都道府県別統計書(青森県)

(第7表-4)

市町村名		弘前市		作付率 (%)	備考
総耕地面積 (ha) ※1		13,900			
区分		作付面積 (ha)	単位面積当たり収量 (kg/10a)		
作物名					
田	水稻	2,830	600	71.5	本地面積全体 13,750 ha ※1 田 3,960 ha 畑 9,790 ha
	小計	2,830		71.5	
畑	小麦	63	254	0.6	
	大豆	715	75	7.3	
	そば	47	19	0.5	
	りんご※2	6,172	—	63.0	
	その他作物 (トマト)	3,923	—	40.1	
	小計	10,920		111.5	
計		13,750		100.0	
市町村別延べ作付率 (%)		100			

5. 農業の動向

R2は、農林水産省HP農林業センサス＞2020年農林業センサス

(第7表-5)

区分	項目	農 家			土 地			主 要 作 物			大 家 畜			動 力 農 機 具			地域指定等	備 考
			B	A		B	A	作 物 名	B	A	家 畜 名	B	A	農 機 具 名	B	A		
変化の状況	(C年を100とする指数)	総農家数	87	72	耕地	98	86	水 稻	93	67	乳用牛	-	-	農 用 トラクター	97	-	下表参照	A:令和2年 (2020年世界 農林業センサス) B:平成27年 (2015年世界 農林業センサス) C:平成22年 (2010年世界 農林業センサス)
		専業農家数	117	-	田	98	81	小 麦	105	5	肉用牛	0	-	コンバイン	88	-		
		第一種 兼業農家数	64	-	畑	138	161	大 豆	153	110	豚	-	-	動力田植機	86	-		
		第二種 兼業農家数	83	-	樹園地	96	84	そ の 他 物	101	104				乗用型ステート スフレイヤー	0	-		
		農業従事者数	84	64	草 地	19	86											
変 化 の 理 由	農家人口の他産業への流動				農地転用等			米作より畑作へ変換						農業の機械大型化				

地域指定

	農業振興地域	野菜指定産地	果樹濃密生産団地	酪農肉用牛生産近代化計画	山村振興地域	過疎地域
弘前市	H27	H16(夏秋トマト)	H2	-	S42(旧岩木町) S44(旧相馬村)	H12(旧相馬村)

第 6 節 地域環境の概況

本地域には、弘前市の南西部に位置し、低地から台地、丘陵地、山地と富んだ地形を示す。また、夏は梅雨の影響が少なく、冬は季節風の影響で西北西の風が強く降雪量が多い日本海特有の気候を示す。

地区内の植物は、殆どが植栽木であり、所々に桜と広葉樹が茂っている。また、動物については大型哺乳類の生息は確認されておらず、野鳥であるフクロウ類、ミミズク類が確認されている。

第 4 章 一般計画

第 1 節 事業計画の要旨

1. 要 旨

本計画路線を整備することで、畑地かんがい用水や防除用水を安定供給し、りんごの高品質化や高収量の生産体系の確立並びに地域の農業経営の安定化を図るものである。

2. 事業別面積

(第 8 表)

土地利用区分 事業目的	水 田 (ha)	畑						計 (ha)	備 考
		普通 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	牧 草 地 (ha)	茶 園 (ha)	そ の 他 (ha)	小 計 (ha)		
用水改良	-	-	105.5	-	-	-	105.5	105.5	

第 2 節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

本事業の実施により、営農効率の向上と農業経営の安定を図る。

2. 土地利用区分

(第9表－1)

土地利用区分 区 分	水 田 (ha)	畑					小 計 (ha)	原 野 (ha)	山 林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
		普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	茶 園 (ha)	その他 (ha)						
現 況	-	-	-	105.5	-	-	105.5	-	-	-	105.5	
計 画	-	-	-	105.5	-	-	105.5	-	-	-	105.5	

3. 作付方式

(第9表-2)

項目	経営 類型	土 地 利 用 区 分	1 年 目												2 年 目												3 年 目												備 考	
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
現 況	樹 園 地	水 田																																						
		輪 換 畑 + 普 通 畑																																						
		果樹園		← りんご →												1 年 目 に 同 じ												1 年 目 に 同 じ												
計 画	樹 園 地	水 田																																						
		輪 換 畑 + 普 通 畑																																						
		果樹園		← りんご →												1 年 目 に 同 じ												1 年 目 に 同 じ												

4. 生産計画 該当なし

5. 労働改善計画 該当なし

第 3 節 用水計画

1. 計画基準年

昭和37年

(上位事業：県営かんがい排水事業相馬川二期地区より)

2. 計画かんがい方式

りんご：スピードスプレイヤーによる散水かんがい方式

かんがい期間 5月1日～9月1日

(上位事業：県営かんがい排水事業相馬川二期地区より)

3. 計画用水系統

計画用水系統模式図 (次頁参照)

4. 計画用水量

(1) かんがい用水

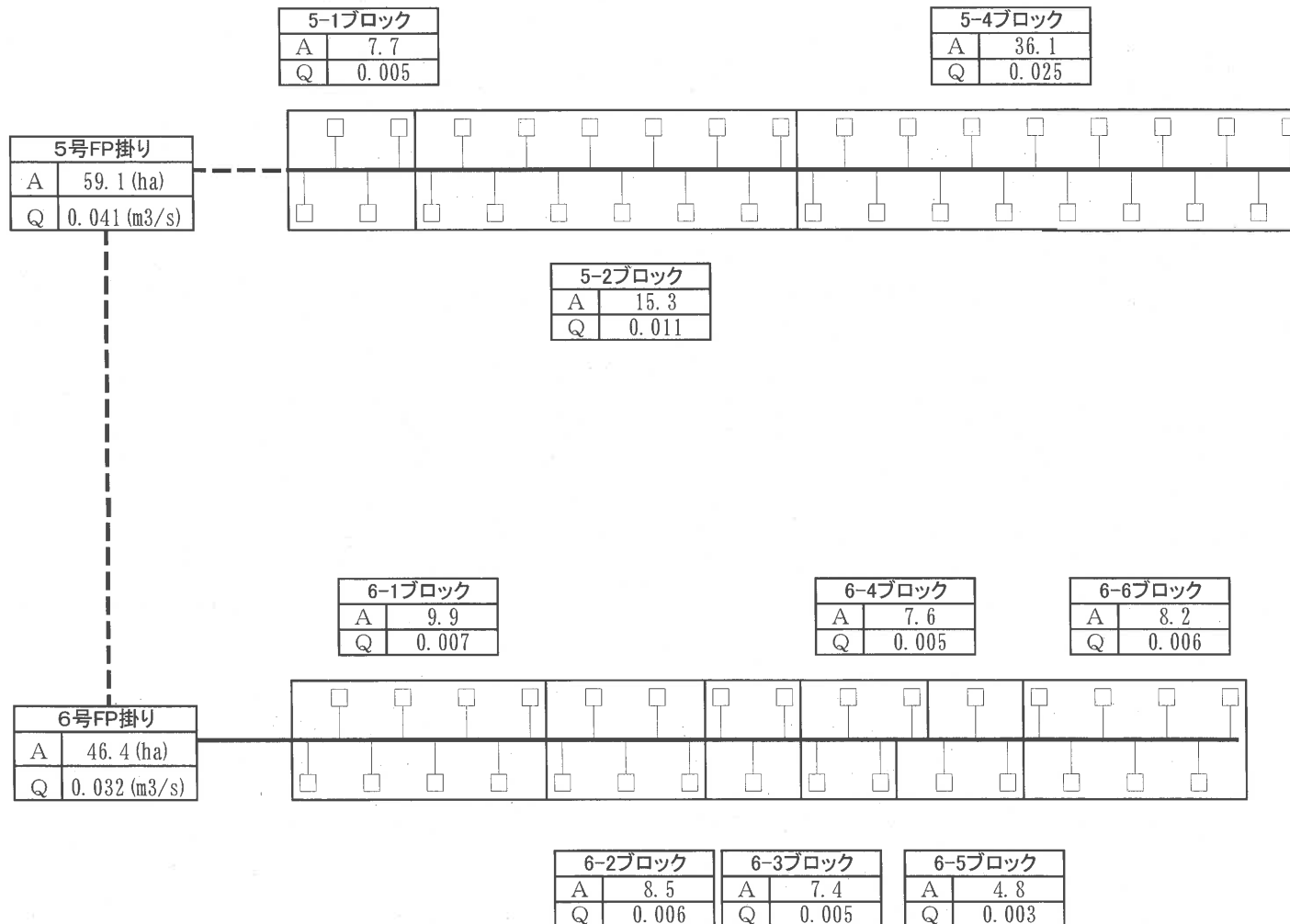
(第10表-1-1)

系 統 名	種 別	面 積 (ha)	水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			その他		消 費 水 量 (m^3/s)	損 失 率 (%)	粗用水量		備 考
			普通 期	代か き期	面 積	一 日 当 た り 計 画	平 均 かん 水 深	平 均 間 断 日 数	面 積	一 日 当 た り 計 画	平 均 かん 水 深	平 均 間 断 日 数	面 積			平 均	最 大	
			計 画 平 均 量	計 画 平 均 量	面 積	計 画 平 均 量	計 画 平 均 量	計 画 平 均 量	計 画 平 均 量	計 画 平 均 量	計 画 平 均 量	計 画 平 均 量	計 画 平 均 量			計 画 平 均 量	計 画 平 均 量	
			($\text{mm}/\text{日}$)	($\text{mm}/\text{日}$)	(ha)	($\text{mm}/\text{日}$)	(日)	(ha)	($\text{mm}/\text{日}$)	(日)	(ha)	($\text{mm}/\text{日}$)	(ha)			(m^3/s)	(m^3/s)	
悪戸・小沢	農業用水	105.5	-	-	-	-	-	-	-	6	105.5	-	-	-	-	-	-	
計		105.5			-			-			105.5		-					

(2) 営農飲雑用水

該当なし

計画用水系統模式図



凡 例		
A	受益面積	(ha)
Q	灌漑用水量	(m3/s)
---	既設利用	
—	新設	

5. 水源計画

(1) 水利用計画 該当なし

(2) 用水対策

(ア) 貯水池 該当なし

(イ) 井堰及び自然取水口 該当なし

(ウ) 揚水機 該当なし

(エ) 用水路

(第10表-6)

項目 名称	かんがい面積 (ha)	最大通水量 (m^3/s)	延長 (m)	構造	備考
悪戸・小沢	105.5	0.178	7,133	VU、VP $\phi 50 \sim \phi 200$	

(オ) その他の水源施設 該当なし

(3) 水温水質 該当なし

第 4 節 排水計画

- | | |
|-----------|------|
| 1. 計画基準雨量 | 該当なし |
| 2. 計画排水方式 | 該当なし |
| 3. 計画排水系統 | 該当なし |
| 4. 計画排水量 | 該当なし |
| 5. 排水対策 | |
| (1) 排水水門 | 該当なし |
| (2) 排水機 | 該当なし |
| (3) 排水路 | 該当なし |
| (4) その他 | 該当なし |
| 6. たん水検討 | 該当なし |

第 5 節 道路計画

1. 道 路 該当なし

2. 路線配置図 該当なし

第 6 節 洪水調節計画

1. 計画基準雨量 該当なし

2. 計画洪水量及び調節量 該当なし

3. 貯水池 該当なし

4. 洪水調節検討

(1) 河川改修計画との関係 該当なし

(2) 洪水調節が下流に及ぼす影響 該当なし

(3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討 該当なし

5. 管理計画

- (1) 管理機構 該当なし
- (2) ダム管理操作上の各種基準 該当なし
- (3) 洪水調整要領 該当なし

第 7 節 農用地整備計画

1. 区画整理

- (1) 区画の形状 該当なし
- (2) 表土扱い 該当なし
- (3) 末端道水路配置図 該当なし

2. 暗渠排水

- (1) 暗渠排水 該当なし
- (2) 心土破碎 該当なし

3. 客土 該当なし

4. 農地保全

(1) 防災林 該当なし

(2) 排水工 該当なし

(3) 浸食（崩壊）防止工 該当なし

第 8 節 老朽ため池改修計画

1. 洪水吐改修計画

(1) 計画基準雨量 該当なし

(2) 計画洪水量 該当なし

2. 堤体補強計画 該当なし

3. 取水施設改修計画 該当なし

第 5 章 主要工事計画

第 1 節 用水施設

1. 貯水池 該当なし

2. 頭首工 該当なし

3. 揚水機 該当なし

4. 用水路

(第 15 表 - 4)

水路名	項目 かんがい面 積 (ha)	通 水 量 (m^3/s)	延 長 (m)			構 造	勾 配	主 要 構 造 物	備 考
			開きよ	トンネル そ の 他	計				
悪 戸 ・ 小 沢	105.5	0.178	-	7,133	7,133	VU、VP $\phi 50 \sim \phi 200$	1/4 $\sim$ 107	給水栓	

第 2 節 排水施設

1. 排水水門 該当なし

2. 排水機 該当なし

3. 排水路 該当なし

4. その他排水施設 該当なし

第 3 節 道 路

1. 道路の総括表 該当なし

2. 道路主要構造物 該当なし

第 4 節 洪水調節施設

1. 貯水池 該当なし

2. 頭首工及び導水路

(1) 頭首工 該当なし

(2) 導水路 該当なし

第 5 節 農用地整備施設

1. 区画整理 該当なし

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水 該当なし

(2) 心土破碎 該当なし

3. 客 土 該当なし

4. 除 礫 該当なし

5. 農地保全

(1) 防災林 該当なし

(2) 排水路 該当なし

(3) 浸食防止工 該当なし

第 6 節 老朽ため池改修施設

1. 貯水池 該当なし

2. 堤体補強施設

(1) 法面保護施設 該当なし

(2) 漏水防止工 該当なし

第 6 章 附帯工事計画 該当なし

第 7 章 工事の着手及び完了の予定時期

着 手 令和 7 年度

完 了 令和 14 年度

第 8 章 環境との調和への配慮

事業の実施に当たっては、工事中、貴重な動植物を発見した場合は、近くに移動又は移植し保護する。

第 9 章 換地計画の概要

第 1 節 換地計画を作成する上での基本的な考え方 該当なし

第 2 節 換地区の設定

1. 換地区の名称・所在・面積 該当なし

2. 換地区を設定する理由 該当なし

第 3 節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準 該当なし

2. 用途別予定地積 該当なし

3. 農用地集団化の方針 該当なし

4. 非農用地換地の方法 該当なし

第 4 節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法 該当なし

2. 清算の方法 該当なし

第 5 節 換地計画樹立の年度計画 該当なし

第 6 節 換地処分の特則に関する特則 該当なし

第 1 0 章 事業費の総額及び内訳

(第 2 2 表)

区 分		事 業 費 (千円)	備 考
工 事 費 事 務 的 経 費		390,000	令和 6 年度単価
		19,500	
	計	409,500	
関連事業 (参考)	農道整備		令和 6 年度単価
	工 事 費	597,000	
	事 務 的 経 費	29,850	
	計	626,850	

第 1 1 章 効 用

(第 2 3 表)

区分 \ 項目	年総効果（便益）額 (千円)	年増加農業所得額 (千円)	備 考
作物生産効果	83,551	84,490	食料の安定供給の確保に関する効果
営農経費節減効果	157,122	171,683	食料の安定供給の確保に関する効果
維持管理費節減効果	△ 439	△ 327	食料の安定供給の確保に関する効果
国産農産物安定供給効果	5,928	-	その他効果
計	246,162	255,846	令和 6 年度単価

< 参 考 >

総 費 用 : 2,120,261 千円
 総 便 益 額 : 4,574,939 千円
 総費用総便益比 : 2.15

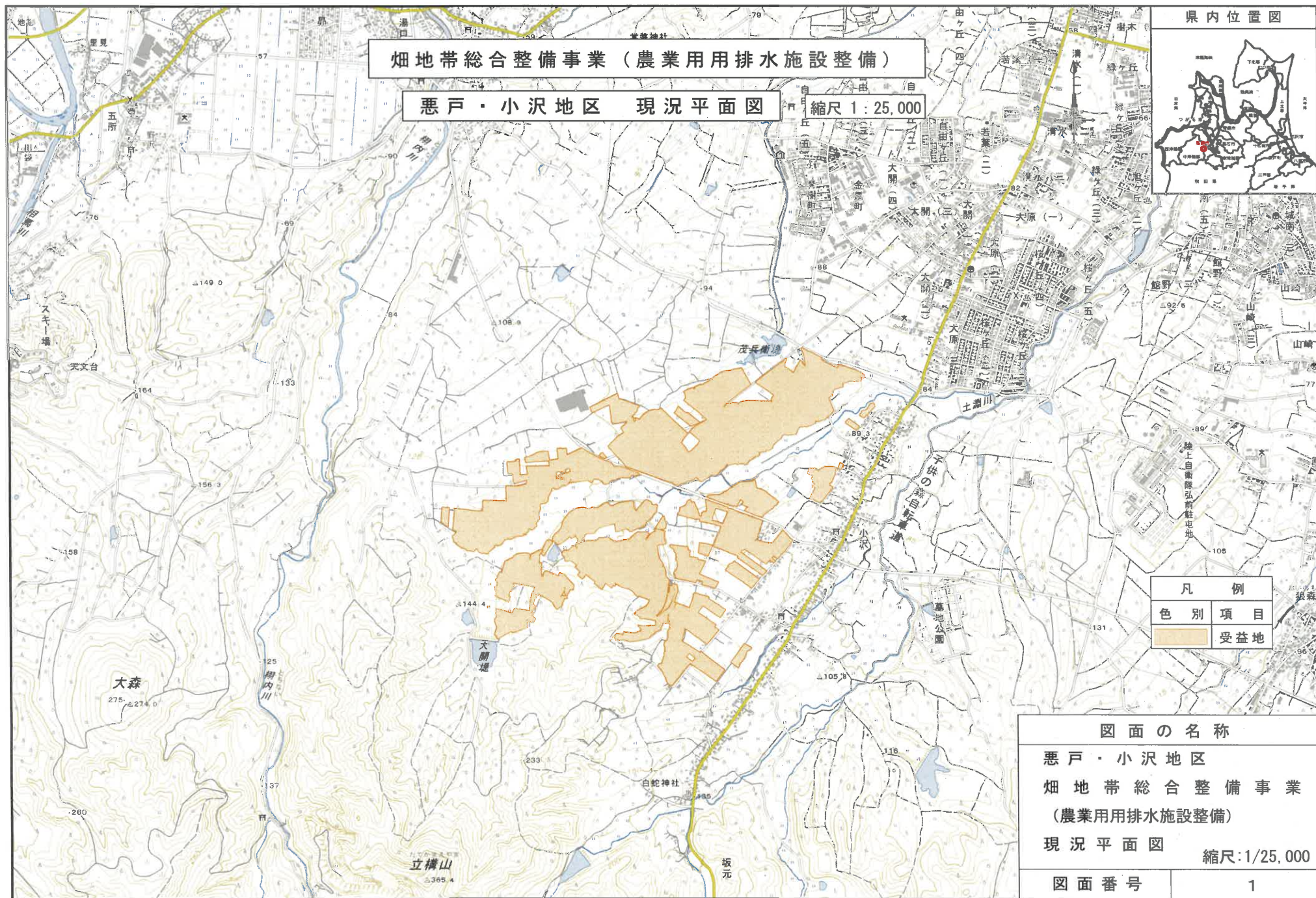
第 1 2 章 関連する事業

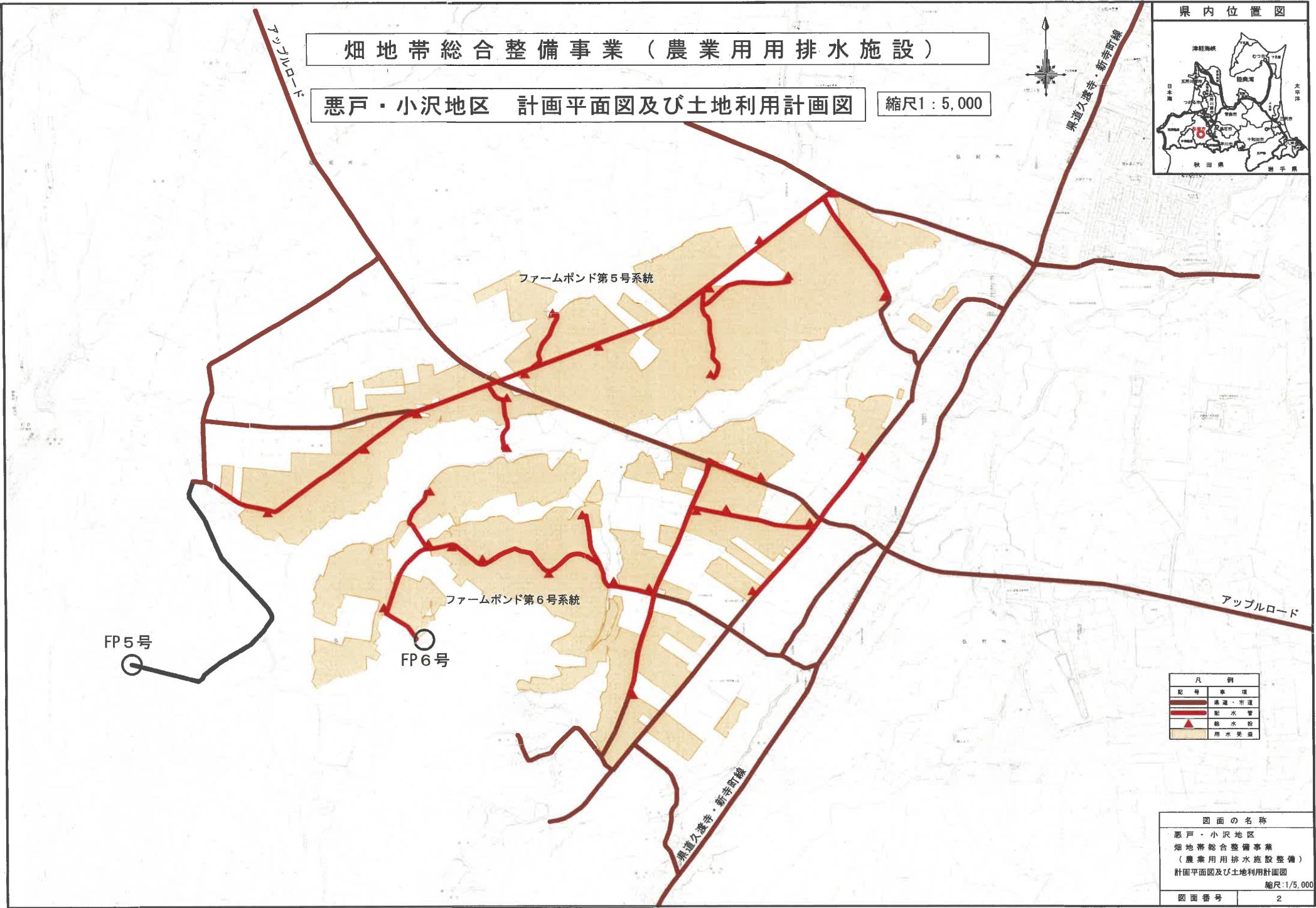
(第 2 4 表)

区 分	事 業 名	事 業 主 体	受 益 面 積 (ha)	事 業 内 容
異 種	悪戸・小沢地区 畑地帯総合整備事業 (農道整備)	青森県	48.1	・ 農道整備工 L=1,917m

第 1 3 章 現況・計画図面

- 1. 現況平面図 別 添
- 2. 計画平面図及び土地利用計画図 別 添
- 3. 主要構造図 別 添





畑地帯総合整備事業（農業用排水施設）

悪戸・小沢地区 計画平面図及び土地利用計画図

縮尺1：5,000



凡 例	
記 号	事 項
	県道・市道
	配 水 管
	給 水 栓
	用 水 受 域

図 面 の 名 称	
悪戸・小沢地区 畑地帯総合整備事業 （農業用排水施設整備） 計画平面図及び土地利用計画図	
縮尺：1/5,000	
図面番号	2

県営悪戸・小沢地区土地改良事業計画書

畑 地 帯 総 合 整 備 事 業

(農 道 整 備)

青 森 県

目 次

第 1 章	目 的	1
第 2 章	地 域 及 び 地 積	1
第 1 節	地 域	1
第 2 節	地 積	1
第 3 章	現 況	2
第 1 節	気 象	2
1.	一 般 気 象	2
2.	特 殊 気 象	2
第 2 節	土 地 状 況	3
1.	地形、土壌及び浸食の程度	3
2.	土地利用の状況	4
3.	土地所有の状況	4
第 3 節	水 利 状 況	5
1.	用 水 状 況	5
2.	排 水 状 況	6
3.	河 川 状 況	7
4.	想 定 被 害 状 況	7
第 4 節	道 路 現 況	8
1.	道 路 概 況	8
2.	主要道路一覧表	8
第 5 節	地 域 農 業 の 概 況	10
1.	産 業 別 就 業 人 口	10
2.	経 営 耕 地 広 狭 別 農 家 数 及 び 専 兼 業 別 農 家 数	10
3.	動 力 農 機 具 及 び 主 要 家 畜 頭 数	11
4.	主 要 作 物 作 付 状 況	11
5.	農 業 の 動 向	12
第 6 節	地 域 環 境 の 概 況	12
第 4 章	一 般 計 画	13
第 1 節	事 業 計 画 の 要 旨	13
1.	要 旨	13
2.	事 業 別 面 積	13

第 2 節	営 農 計 画 及 び 土 地 利 用 計 画	14
1.	営 農 計 画 の 概 要	14
2.	土 地 利 用 区 分	14
3.	作 付 方 式	15
4.	生 産 計 画	16
5.	労 働 改 善 計 画	16
第 3 節	用 水 計 画	16
1.	計 画 基 準 年	16
2.	計 画 かんがい方式	16
3.	計 画 用 水 系 統	16
4.	計 画 用 水 量	16
5.	水 源 計 画	16
第 4 節	排 水 計 画	17
1.	計 画 基 準 雨 量	17
2.	計 画 排 水 方 式	17
3.	計 画 排 水 系 統	17
4.	計 画 排 水 量	17
5.	排 水 対 策	17
6.	た ん 水 検 討	17
第 5 節	道 路 計 画	18
1.	道 路	18
2.	路 線 配 置 図	18
第 6 節	洪 水 調 節 計 画	20
1.	計 画 基 準 雨 量	20
2.	計 画 洪 水 量 及 び 調 節 量	20
3.	貯 水 池	20
4.	洪 水 調 節 検 討	20
5.	管 理 計 画	20
第 7 節	農 用 地 整 備 計 画	21
1.	区 画 整 理	21
2.	暗 渠 排 水	21

	3.	客	土	-----	2 1	
	4.	農	地	保 全	-----	2 1
第8節		老朽ため池改修計画	-----	2 2		
	1.	洪水吐改修計画	-----	2 2		
	2.	堤体補強計画	-----	2 2		
	3.	取水施設改修計画	-----	2 2		
第 5 章		主要工事計画	-----	2 3		
第1節		用 水 施 設	-----	2 3		
	1.	貯 水 池	-----	2 3		
	2.	頭 首 工	-----	2 3		
	3.	揚 水 機	-----	2 3		
	4.	用 水 路	-----	2 3		
第2節		排 水 施 設	-----	2 3		
	1.	排 水 水 門	-----	2 3		
	2.	排 水 機	-----	2 3		
	3.	排 水 路	-----	2 3		
	4.	その他排水施設	-----	2 3		
第3節		道 路	-----	2 4		
	1.	道路の総括表	-----	2 4		
	2.	道路主要構造物	-----	2 4		
第4節		洪水調節施設	-----	2 4		
	1.	貯 水 池	-----	2 4		
	2.	頭首工及び導水路	-----	2 4		
第5節		農用地整備施設	-----	2 5		
	1.	区 画 整 理	-----	2 5		
	2.	暗 渠 排 水	-----	2 5		
	3.	客 土	-----	2 5		
	4.	除 礫	-----	2 5		
	5.	農 地 保 全	-----	2 5		
第6節		老朽ため池改修施設	-----	2 5		
	1.	貯 水 池	-----	2 5		
	2.	堤体補強施設	-----	2 5		

第 6 章	附 帯 工 事 計 画	2 6
第 7 章	工事の着手及び完了の予定時期	2 6
第 8 章	環境との調和への配慮	2 6
第 9 章	換地計画の概要	2 6
第1節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	2 6
第2節	換 地 区 の 設 定	2 6
1.	換地区の名称・所在・面積	2 6
2.	換地区を設定する理由	2 6
第3節	換地計画樹立の基本方針	2 7
1.	従前の土地の地積の基準	2 7
2.	用途別予定地積	2 7
3.	農用地集団化の方針	2 7
4.	非農用地換地の方法	2 7
第4節	土地の評価及び清算の方法	2 7
1.	評 価 の 方 法	2 7
2.	清 算 の 方 法	2 7
第5節	換地計画樹立の年度計画	2 7
第6節	換地処分の時期に関する特則	2 7
第 1 0 章	事業費の総額及び内訳	2 8
第 1 1 章	効 用	2 8
第 1 2 章	関 連 す る 事 業	2 9
第 1 3 章	現 況 ・ 計 画 図 面	2 9

第 1 章 目 的

本地区は弘前市の南西部に位置する標高180m～70mの樹園地地帯で、弘前市でも特に樹園地の所有面積が大きく農家の生産意欲が高い地域である。
本地域で現在利用している農道は、簡易なコンクリート舗装又は砂利道であり、幅員が狭小でひび割れや凹凸等が見られ、通作や集出荷の輸送に多大な支障をきたしている。
このため、計画路線を整備することにより、荷傷み防止や通作、運搬時間の短縮を図り、農産物の高品質、高収量の生産体系の確立を目指すものである。

第 2 章 地域及び地積

第 1 節 地 域

(第 1 表)

地 域
弘前市

第 2 節 地 積

(令和 6 年 1 2 月現在) (第 2 表)

現状地目 市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	原 野 (ha)	山 林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
弘 前 市	-	48.1	-	-	-	48.1	土地登記簿面積

第 3 章 現 況

第 1 節 気 象

1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	弘前地域気象観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観測期間	平成26年～令和5年	5月～9月	10月～4月		
平均気温(℃)	20.4	4.5	11.1		
降水量	平均(mm)	530	784	1,314	
	基準年(mm)	252	793	1,045	昭和37年(上位事業相馬川二期地区より)
降水日数	平均(日)	46	110	156	
	基準年(日)	16	60	76	昭和37年(上位事業相馬川二期地区より)
根雪期間	12月18日～3月20日	93日間			
無霜期間	5月13日～10月18日	160日間			
最多風向	SW	最大風速 (風向)	15 m/s (SW)	最多風向発生時期 9月～11月 最大風速発生年月日 平成28年4月17日	

2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備 考
観測期間	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
昭和1年～令和5年																
最大日雨量(mm)	243	S52.8.5	1/972	162	H25.9.16	1/100	137	R4.8.9	1/50	120	S10.8.21	1/18	116	H24.7.16	1/15	
最大時間雨量(mm)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
最大4時間雨量(mm)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
最大連続雨量(mm)	326	S6.1.4 ～ S6.2.26	1/161	306	S10.8.21 ～ S10.8.26	1/104	270	H14.8.4 ～ H14.8.15	1/50	243	S52.8.5 ～ S52.8.5	1/28	236	R4.8.9 ～ R4.8.12	1/25	
最大連続干天日数(日)	45	S18.6.15 ～ S18.7.29	1/47	44	S3.7.28 ～ S3.9.9	1/44	44	H1.5.3 ～ H1.6.15	1/44	44	H27.5.14 ～ H27.6.26	1/44	42	H6.6.21 ～ H6.8.1	1/42	

第 2 節 土地状況

1. 地形、土壤及び浸食の程度

(第4表-1-1)

地 目	田						畑						受益地標高 (m)		備 考
傾斜区分	1/1,000 未満	1/1,000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 以上	計	3° 未満	3° ～ 8°	8° ～ 15°	15° ～ 20°	20° 以上	計	最高	最低	
面 積 (ha)	—	—	—	—	—	—	—	48.1	—	—	—	48.1	180	70	
比 率 (%)	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—	—	—	100.0			

(第4表-1-2)

項 目 土壤統 (区)名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表						面 積 (ha)	備 考	
	土 壤 断 面								
	色	腐 食	礫 層	土 性					泥炭層黒泥層 及びグライ層
				表 土	下 層 土				
				一 層	二 層	三 層			
弘前統 灰褐色土壤 壤土型	7.5YR2/3 ・・・表土 10YR5/34 ・・・下層土	すこぶる富 む・・・表土 富む・・・ 下層土	無	SIL	CL	—	無	48.1	

2. 土地利用の状況

(令和6年12月現在) (第4表-2)

市町村名	土地利用別	耕 地						原 野 (ha)	山 林 (ha)	そ の 他 (ha)	計 (ha)	備 考	
		水 田 (ha)	畑										小 計 (ha)
			普通畑 (ha)	果樹園 (ha)	牧草地 (ha)	茶園 (ha)	その他 (ha)						
弘 前 市	—	—	48.1	—	—	—	48.1	—	—	—	48.1		

3. 土地所有の状況

(令和6年12月現在) (第4表-3)

区 分	所有別	個 人 有	共 有	国 有	市 町 村 有	計	備 考
面 積	(ha)	48.1	—	—	—	48.1	
受益者数	(人)	63	—	—	—	63	
筆 数	(筆)	124	—	—	—	124	

第 3 節 水利状況

1. 用水状況

(1) 用水系統 該当なし

(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表 該当なし

(イ) 改修を要する施設一覧表 該当なし

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況 該当なし

(イ) その他被害状況 該当なし

2. 排水状況

(1) 排水系統 該当なし

(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表 該当なし

(イ) 改修を要する施設の一覧表 該当なし

(3) 排水に関する被害状況 該当なし

3. 河川状況

(1) 河川状況 該当なし

(2) 洪水に関する被害状況 該当なし

4. 想定被害状況 該当なし

第 4 節 道路現況

1. 道路概況

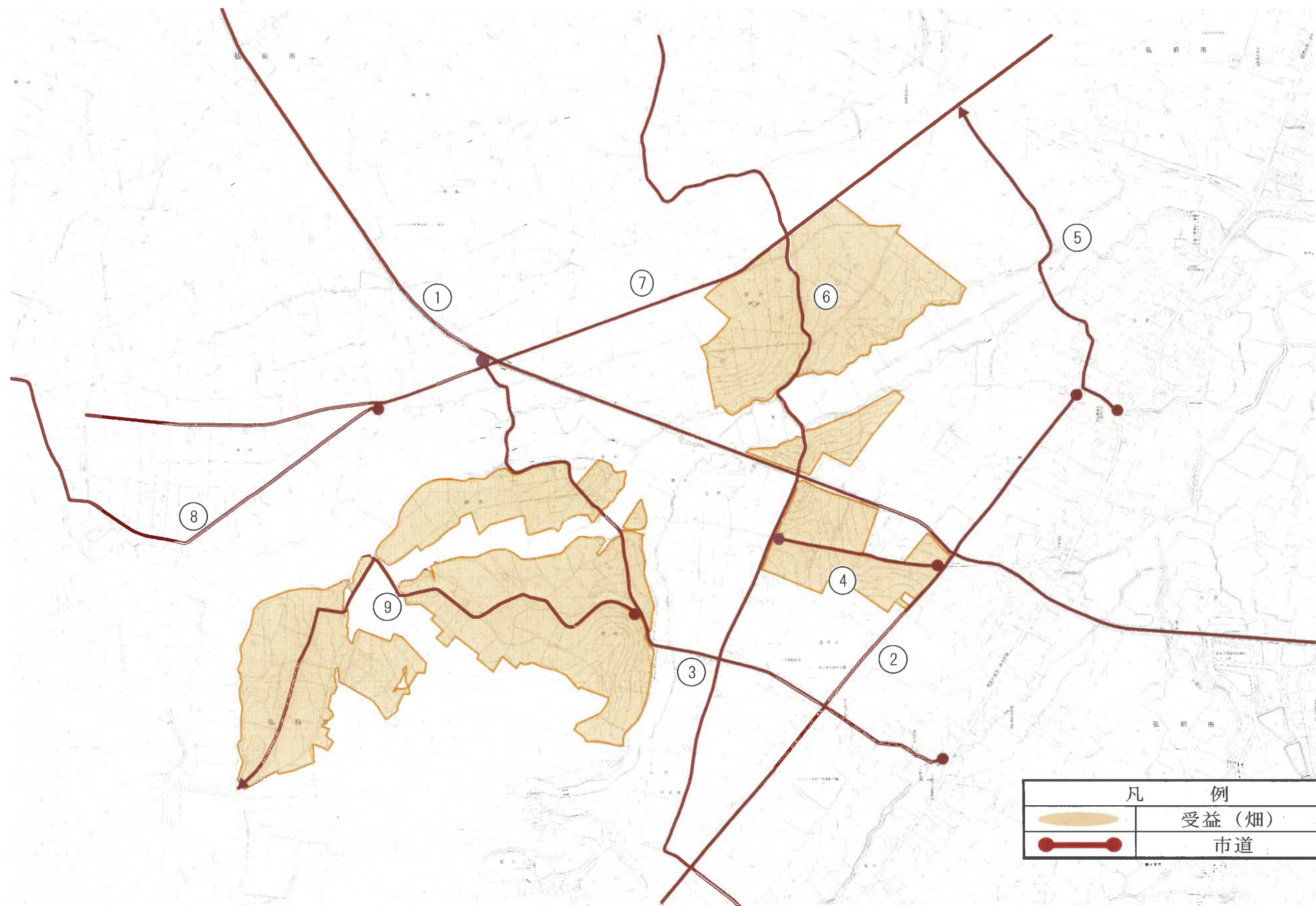
主要道路一覧図（次頁参照）

2. 主要道路一覧表

（第6表）

NO.	路 線 名	管 理 区分別	延 長 (m)	幅 員 (m)		構 造	改修の 要 否	備 考
				全幅員	有効幅員			
①	小栗山下湯口線 (アップルロード)	弘前市	8,884.9	6.5	5.5	アスファルト舗装	否	
②	小沢金山1号線	弘前市	2,182.0	6.5	5.5	アスファルト舗装	否	
③	小沢御笠見1号線	弘前市	1,610.2	2.5～6.5	1.5～5.5	アスファルト舗装 コンクリート舗装	要	
④	小沢御笠見3号線	弘前市	620.5	3.5	1.5～2.5	コンクリート舗装	要	
⑤	小沢広野2号線	弘前市	852.4	4.5～6.5	3.5～5.5	アスファルト舗装	否	
⑥	小沢山下線	弘前市	2,945.2	3.5～5.5	2.5～4.5	アスファルト舗装 コンクリート舗装	要	
⑦	小沢大開3号線	弘前市	3,516.5	4.5～6.5	3.5～5.5	アスファルト舗装	否	
⑧	悪戸芦野4号線	弘前市	1,141.1	4.5～6.5	3.5～5.5	アスファルト舗装	否	
⑨	悪戸前范線	弘前市	1,300.3	3.5	2.5	コンクリート舗装	要	

主要道路一覽圖



凡 例	
	受益（畑）
	市道

第 5 節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

総務省統計局＞統計データ＞令和2年国勢調査より

(第7表-1)

項 目	総 数	農 業	林 業	漁 業	鉱 業	建設業	製造業	電気ガス 熱供給 水道業	運 輸 通信業	卸 売 小売業 飲食店	金 融 保険業	不 動 産 業	サービス業	公 務	その他	備 考
市町村名	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
弘 前 市	82,826	10,844	71	2	14	5,068	7,913	346	3,432	16,839	1,519	975	28,038	3,777	3,988	
比率 (%)	100	13.1	0.1	0.0	0.0	6.1	9.6	0.4	4.1	20.3	1.8	1.2	33.9	4.6	4.8	

2. 経営耕地広狭別農家数及び専兼業別農家数

2020年農林業センサス II 農業経営体 (総数) 3経営耕地面積規模別経営体数 7経営耕地の状況

2020年農林業センサス 自給的はIV総農家等 2経営耕地のある農家数と経営耕地面積

(第7表-2)

区 分 市町村名	農 家 総 戸 数 (戸)	経 営 耕 地 広 狭 別 農 家 数 (戸)											1戸当たり平均農用地面積 (ha)						専兼業別農家数(戸)			備 考
		例外規定の適用を受けるもの	0.3	0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	5.0	10.0	20.0	自給的農家 ha	田	畑	樹園地	小計	草地	計	専業	兼業		
			～	～	～	～	～	～	～	～	～									第一種	第二種	
			0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	5.0	10.0	20.0	以上											
弘 前 市	5,205	42	422	1,022	852	668	891	536	156	43	25	548	0.53	0.12	1.20	1.85	0.01	1.86	—	—	—	
比 率 (%)	100	0.8	8.1	19.6	16.4	12.8	17.2	10.3	3.0	0.8	0.5	10.5	28.5	6.5	64.5	99.5	0.5	100	—	—	—	

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

2020農林業センサスⅡ農業経営体

(第7表-3)

市町村名	項目		動力農機具						主要家畜				備考		
	農用トラクター		コンバイン		動力田植機		乗用型スปี-トスプレー		乳用牛		肉用牛				
	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)			
弘前市	-	-	-	-	-	-	-	-	X	2	37	5			
100戸当たり数量(台, 頭)	-		-		-		-		-		0.7				
利用戸数割合(%)	-		-		-		-		0.0		0.1				

4. 主要作物作付状況

※1 農林水産省HP>統計情報>農業生産に関する統計>作物統計>面積調査>市町村別データ>令和5年(e-Stat)>耕地面積>青森県

※2 2020農林業センサス>確報>第1巻 都道府県別統計書(青森県)

(第7表-4)

市町村名		弘前市		作付率 (%)	備考
総耕地面積 (ha) ※1		13,900			
区分		作付面積 (ha)	単位面積当たり収量 (kg/10a)		
作物名					
田	水稻	2,830	600	71.5	本地面積全体 13,750 ha ※1 田 3,960 ha 畑 9,790 ha
	小計	2,830		71.5	
畑	小麦	63	254	0.6	
	大豆	715	75	7.3	
	そば	47	19	0.5	
	りんご※2	6,172	—	63.0	
	その他作物 (トマト)	3,923	—	40.1	
	小計	10,920		111.5	
計		13,750		100.0	
市町村別延べ作付率 (%)		100			

5. 農業の動向

R2は、農林水産省HP農林業センサス＞2020年農林業センサス

(第7表-5)

区分	項目	農 家			土 地			主 要 作 物			大 家 畜			動 力 農 機 具			地域指定等	備 考
			B	A		B	A	作 物 名	B	A	家 畜 名	B	A	農 機 具 名	B	A		
変化の状況	(C年を100とする指数)	総農家数	87	72	耕地	98	86	水 稻	93	67	乳用牛	-	-	農 用トラクター	97	-	下表参照	A:令和2年 (2020年世界農林業センサス) B:平成27年 (2015年世界農林業センサス) C:平成22年 (2010年世界農林業センサス)
		専業農家数	117	-	田	98	81	小 麦	105	5	肉用牛	0	-	コンバイン	88	-		
		第一種兼業農家数	64	-	畑	138	161	大 豆	153	110	豚	-	-	動力田植機	86	-		
		第二種兼業農家数	83	-	樹園地	96	84	そ の 他 物	101	104				乗用型ステッドスフレイヤー	0	-		
		農従事者数	84	64	草 地	19	86											
変 化 の 理 由	農家人口の他産業への流動				農地転用等			米作より畑作へ変換						農業の機械大型化			下表参照	A:令和2年 (2020年世界農林業センサス) B:平成27年 (2015年世界農林業センサス) C:平成22年 (2010年世界農林業センサス)

地域指定

	農業振興地域	野菜指定産地	果樹濃密生産団地	酪農肉用牛生産近代化計画	山村振興地域	過疎地域
弘前市	H27	H16(夏秋トマト)	H2	-	S42(旧岩木町) S44(旧相馬村)	H12(旧相馬村)

第 6 節 地域環境の概況

本地域には、弘前市の南西部に位置し、低地から台地、丘陵地、山地と富んだ地形を示す。また、夏は梅雨の影響が少なく、冬は季節風の影響で西北西の風が強く降雪量が多い日本海特有の気候を示す。

地区内の植物は、殆どが植栽木であり、所々に桜と広葉樹が茂っている。また、動物については大型哺乳類の生息は確認されておらず、野鳥であるフクロウ類、ミミズク類が確認されている。

第 4 章 一般計画

第 1 節 事業計画の要旨

1. 要 旨

本事業により、幅員が狭小で未整備な現道を拡幅・改良し、生産性の向上と荷傷み防止による品質向上及び農業経営の安定を図るものである。

2. 事業別面積

(第8表)

土地利用区分 事業目的	水 田 (ha)	畑						計 (ha)	備 考
		普通 畑 (ha)	果樹 園 (ha)	牧草 地 (ha)	茶 園 (ha)	その 他 (ha)	小 計 (ha)		
農 道 整 備	—	—	48.1	—	—	—	48.1	48.1	

第 2 節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

本事業の実施により、営農効率の向上と農業経営の安定を図る。

2. 土地利用区分

(第9表-1)

土地利用区分 区 分	水 田 (ha)	畑					小 計 (ha)	原 野 (ha)	山 林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
		普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	茶 園 (ha)	その他 (ha)						
現 況	—	—	—	48.1	—	—	48.1	—	—	—	48.1	
計 画	—	—	—	48.1	—	—	48.1	—	—	—	48.1	

3. 作付方式

(第9表-2)

項目	経営 類型	土 地 利 用 区 分	1 年 目												2 年 目												3 年 目												備 考
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
現 況	樹 園 地	水 田																																					
		普 通 畑 + 輪 換 畑																																					
		果 樹 園	← りんご →												1 年 目 に 同 じ												1 年 目 に 同 じ												
計 画	樹 園 地	水 田																																					
		普 通 畑 + 輪 換 畑																																					
		果 樹 園	← りんご →												1 年 目 に 同 じ												1 年 目 に 同 じ												

4. 生産計画 該当なし

5. 労働改善計画 該当なし

第 3 節 用水計画

1. 計画基準年 該当なし

2. 計画かんがい方式 該当なし

3. 計画用水系統 該当なし

4. 計画用水量

(1) かんがい用水 該当なし

(2) 営農飲雑用水 該当なし

5. 水源計画

(1) 水利用計画 該当なし

(2) 用水対策

(ア) 貯水池 該当なし

(イ) 井堰及び自然取水口 該当なし

(ウ) 揚水機 該当なし

(エ) 用水路 該当なし

(オ) その他の水源施設 該当なし

(3) 水温水質 該当なし

第 4 節 排水計画

1. 計画基準雨量 該当なし

2. 計画排水方式 該当なし

3. 計画排水系統 該当なし

4. 計画排水量 該当なし

5. 排水対策

(1) 排水水門 該当なし

(2) 排水機 該当なし

(3) 排水路 該当なし

(4) その他 該当なし

6. たん水検討 該当なし

第 5 節 道路計画

1. 道 路

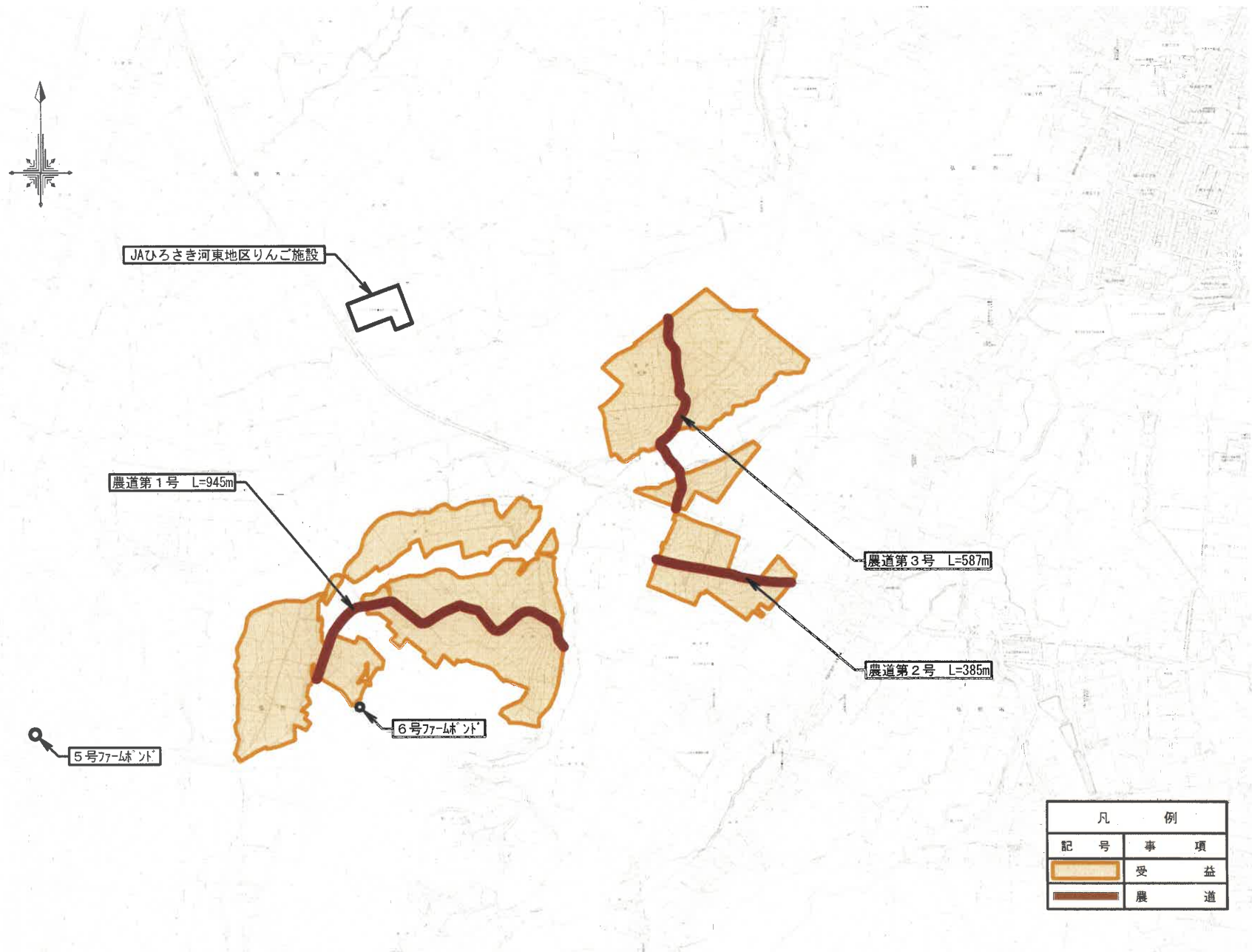
(第 1 2 表)

項目 路線名	幅 (有効) (m)	延長 (m)	構 造	既 設 道 路 と の 関 係		備 考
				始 点	終 点	
① 農道第 1 号	5.0 (4.0)	945	表層アスファルト 4cm 上層 5cm 下層 10cm 凍抑層 38cm	市道5.0 (4.0)	市道4.5 (4.0)	表層 (摩耗層1cm 含まない)
② 農道第 2 号	5.0 (4.0)	385	表層アスファルト 4cm 上層 5cm 下層 10cm 凍抑層 38cm	市道5.0 (4.0)	市道5.0 (4.0)	同上
③ 農道第 3 号	5.0 (4.0)	587	表層アスファルト 4cm 上層 5cm 下層 10cm 凍抑層 38cm	市道6.5 (5.5)	市道5.0 (4.0)	同上
計		1,917				

2. 路線配置図

路線配置図 (次頁参照)

路線配置図



第 6 節 洪水調節計画

- | | |
|------------------------|------|
| 1. 計画基準雨量 | 該当なし |
| 2. 計画洪水量及び調節量 | 該当なし |
| 3. 貯水池 | 該当なし |
| 4. 洪水調節検討 | |
| (1) 河川改修計画との関係 | 該当なし |
| (2) 洪水調節が下流に及ぼす影響 | 該当なし |
| (3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討 | 該当なし |
| 5. 管理計画 | |
| (1) 管理機構 | 該当なし |
| (2) ダム管理操作上の各種基準 | 該当なし |
| (3) 洪水調整要領 | 該当なし |

第 7 節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状 該当なし

(2) 表土扱い 該当なし

(3) 末端道水路配置図 該当なし

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水 該当なし

(2) 心土破碎 該当なし

3. 客土 該当なし

4. 農地保全

(1) 防災林 該当なし

(2) 排水工 該当なし

(3) 浸食（崩壊）防止工 該当なし

第 8 節 老朽ため池改修計画

1. 洪水吐改修計画

(1) 計画基準雨量 該当なし

(2) 計画洪水量 該当なし

2. 堤体補強計画 該当なし

3. 取水施設改修計画 該当なし

第 5 章 主要工事計画

第 1 節 用水施設

1. 貯水池 該当なし

2. 頭首工 該当なし

3. 揚水機 該当なし

4. 用水路 該当なし

第 2 節 排水施設

1. 排水水門 該当なし

2. 排水機 該当なし

3. 排水路 該当なし

4. その他排水施設 該当なし

第 3 節 道 路

1. 道路の総括表

(第 17 表 - 1)

項目 区分	路 線 名	幅 (有効) (m)	延 長 (m)	構 造	付 帯 構 造 物			最 急 勾 配 (%)	同 左 の 延 長 (m)	最 小 曲 線 半 径 (m)	備 考
					名 称	構 造	数 量 (箇所)				
地区内 支線道路	農道第 1 号	5.0 (4.0)	945	表層 AS13F 4cm 上層 M-25 5cm 下層 RC-40 10cm 凍上抑制層 38cm	L 型側溝	250A	1,780 m	5.00	20.0	—	
地区内 支線道路	農道第 2 号	5.0 (4.0)	385	表層 AS13F 4cm 上層 M-25 5cm 下層 RC-40 10cm 凍上抑制層 38cm	L 型側溝	250A	770 m	2.00	5.0	—	
地区内 支線道路	農道第 3 号	5.0 (4.0)	587	表層 AS13F 4cm 上層 M-25 5cm 下層 RC-40 10cm 凍上抑制層 38cm	L 型側溝	250A	974 m	8.00	50.0	—	
計			1,917								

2. 道路主要構造物 該当なし

第 4 節 洪水調節施設

1. 貯水池 該当なし

2. 頭首工及び導水路

(1) 頭首工 該当なし

(2) 導水路 該当なし

第 5 節 農用地整備施設

1. 区画整理 該当なし

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水 該当なし

(2) 心土破碎 該当なし

3. 客 土 該当なし

4. 除 礫 該当なし

5. 農地保全

(1) 防災林 該当なし

(2) 排水路 該当なし

(3) 浸食防止工 該当なし

第 6 節 老朽ため池改修施設

1. 貯水池 該当なし

2. 堤体補強施設

(1) 法面保護施設 該当なし

(2) 漏水防止工 該当なし

第 6 章 附帯工事計画 該当なし

第 7 章 工事の着手及び完了の予定時期

着 手 令和 7 年度

完 了 令和 14 年度

第 8 章 環境との調和への配慮

事業の実施に当たっては、工事中、貴重な動植物を発見した場合は、近くに移動又は移植し保護する。

第 9 章 換地計画の概要

第 1 節 換地計画を作成する上での基本的な考え方 該当なし

第 2 節 換地区の設定

1. 換地区の名称・所在・面積 該当なし

2. 換地区を設定する理由 該当なし

第 3 節 換地計画樹立の基本方針

- | | |
|----------------|------|
| 1. 従前の土地の地積の基準 | 該当なし |
| 2. 用途別予定地積 | 該当なし |
| 3. 農用地集団化の方針 | 該当なし |
| 4. 非農用地換地の方法 | 該当なし |

第 4 節 土地の評価及び清算の方法

- | | |
|----------|------|
| 1. 評価の方法 | 該当なし |
| 2. 清算の方法 | 該当なし |

第 5 節 換地計画樹立の年度計画 該当なし

第 6 節 換地処分の時期に関する特則 該当なし

第 1 0 章 事業費の総額及び内訳

(第 2 2 表)

区 分		事 業 費 (千円)	備 考
関連事業 (参考)	工 事 費	597,000	令和6年度単価
	事 務 的 経 費	29,850	
	計	626,850	
	農業用排水施設整備		令和6年度単価
	工 事 費	390,000	
	事 務 的 経 費	19,500	
	計	409,500	

第 1 1 章 効 用

(第 2 3 表)

区分 \ 項目	年総効果（便益）額 (千円)	年増加農業所得額 (千円)	備 考
品 質 向 上 効 果	8,552	8,552	食料の安定供給の確保に関する効果
維持管理費節減効果	△ 453	537	食料の安定供給の確保に関する効果
営農に係る走行経費節減効果	9,123	3,469	食料の安定供給の確保に関する効果
計	17,222	12,558	令和6年度単価

< 参 考 >

総 費 用 : 284,901 千円
 総 便 益 額 : 329,704 千円
 総費用総便益比 : 1.15

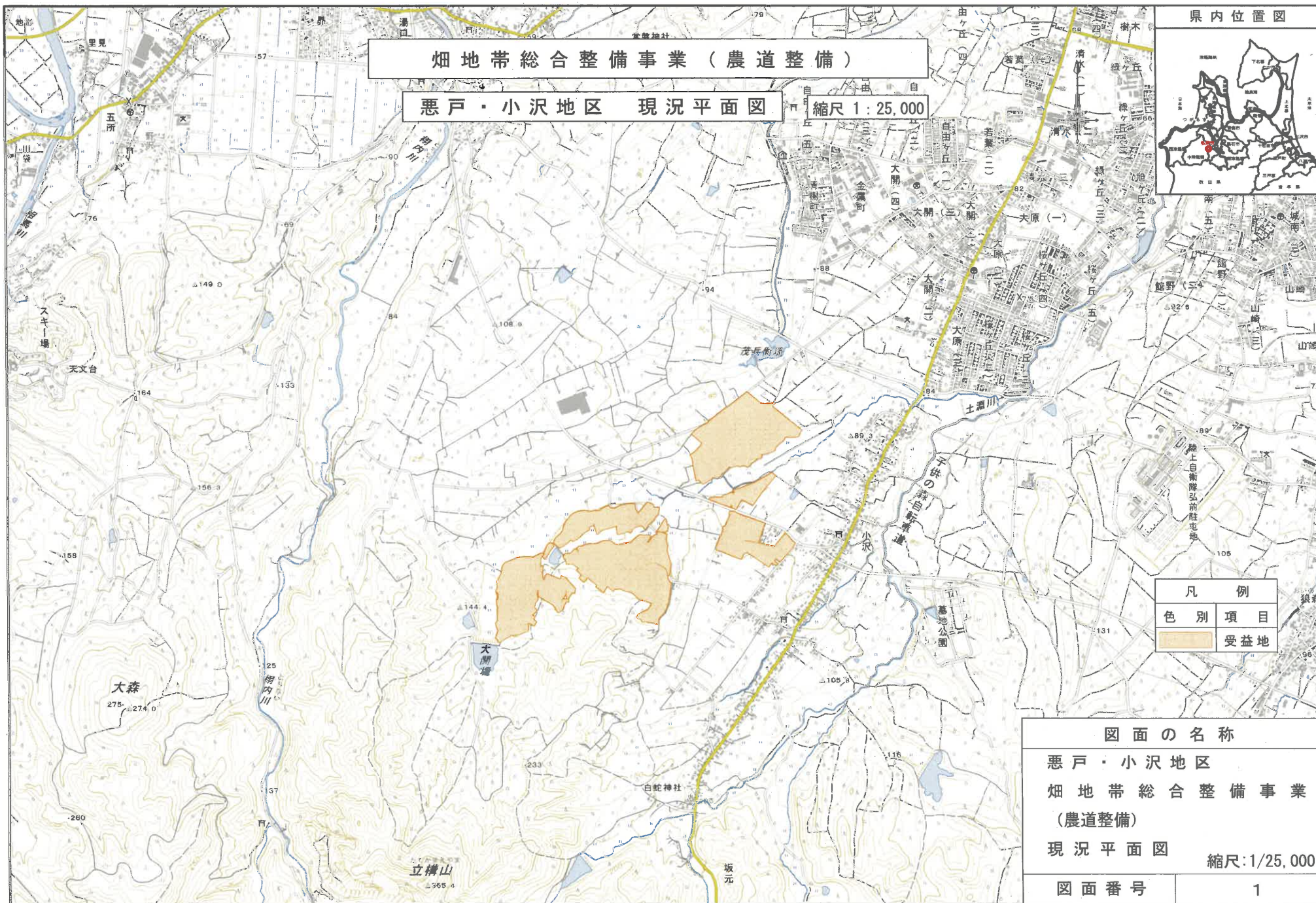
第 1 2 章 関連する事業

(第 2 4 表)

区 分	事 業 名	事 業 主 体	受 益 面 積 (ha)	事 業 内 容
異 種	悪戸・小沢地区 畑地帯総合整備事業 (農業用排水施設整備)	青森県	105.5	・水路工(配水管、給水栓) L=7,133m

第 1 3 章 現況・計画図面

- 1. 現況平面図 別 添
- 2. 計画平面図及び土地利用計画図 別 添
- 3. 主要構造図 別 添



畑地帯総合整備事業（農道整備）

悪戸・小沢地区 計画平面図及び土地利用計画図

縮尺1:5,000



県内位置図



凡 例	
記号	事 項
	農 道
	農道受益

図面の名称

悪戸・小沢地区
畑地帯総合整備事業
（農道整備）
計画平面図及び土地利用計画図

縮尺:1/5,000

図面番号 2

主 要 構 造 図

舗装工 ① 区間

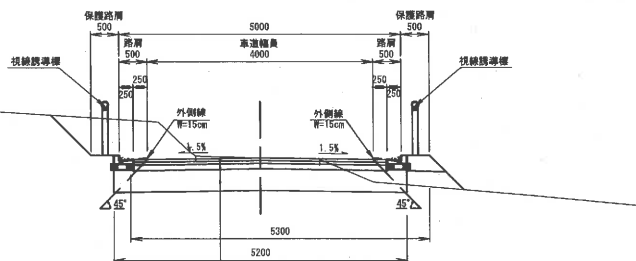


表 層 工 : ⑤再生密粒度As (13F)	t= 5cm (4cm)
上層路盤工 : 粒調砕石 (M-25)	t= 5cm
下層路盤工 : 再生砕石 (RC-40)	t=10cm
凍上抑制層 : 再生砕石 (RC-40)	t=38cm

※ () は摩耗層抜きの厚さ

舗装工 ② 区間

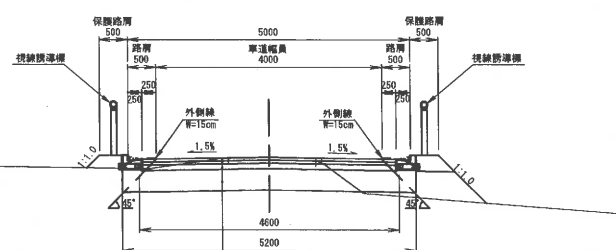


表 層 工 : ⑤再生密粒度As (13F)	t= 5cm (4cm)
上層路盤工 : 粒調砕石 (M-25)	t= 5cm
下層路盤工 : 再生砕石 (RC-40)	t=10cm
凍上抑制層 : 再生砕石 (RC-40)	t=38cm

※ () は摩耗層抜きの厚さ

図 面 の 名 称

悪 戸 ・ 小 沢 地 区
畑 地 帯 総 合 整 備 事 業
主 要 構 造 図

縮尺: No. scale

図 面 番 号

3